第 16 回釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会)　意見要旨

■日　時：2026 年（令和 8 年）10 月 19 日（月）15：00～16：40
■名　簿：末頁のとおり
■議　事
（1） 前回の協議会意見に対する対応
（2） 釧路駅周辺の施設配置について
（3） 釧路市都心部まちづくり計画【事業構想編】改訂について
（4） その他

【意見や議論等の要旨】

■議事（1）前回の協議会意見に対する対応

・ 特に意見なし。

■議事（2）釧路駅周辺の施設配置について

・ バス乗降場との位置関係に関連して改札位置や高架下民間施設についての意見があり、事務局より土地区画整理事業や支障物件について継続的に検討を行うとの考えが示された。

・ 土地区画整理事業と連続立体交差事業に関連して、事務局より環境側道を明示するとの考えが示された。

・ 公共空地の利用目的に関する意見があり、事務局より補助事業の対象となる公共施設の整備を想定しているとの考えが示された。

・ 高架駅を含めた総合的なデザインについて既存制度の中で最大限工夫すべきとの意見があり、事務局より駅舎のデザインを含め今後の進め方について検討する考えが示された。

・ 今後はバス乗降場を北側に配置する案を中心に検討を進めていく旨の方向性について事務局より提案があり、全会一致で確認された。

■議事（3）釧路市都心部まちづくり計画【事業構想編】改訂について

・ 表現等の文言整理に関する指摘があり、事務局より修正するとの考えが示された。

・ L 字バス専用道路から直線道路への変更に関連してバス待合の記載に関する意見があり、事務局よりバス待合空間も駅周辺施設の一部として検討するとの考えが示された。

・ 後で困らないように、あらかじめ各施設整備への国庫補助事業のメニューを考慮して公共施設等を考えたうえで計画に表現すべきとの助言があった。

■議事（４）その他

・ 釧路市として考える戦略の重要性と、取組の方向性として、経済性だけに捕らわれない夏冬を通した空間としてのにぎわいや運用について検討すべきとの意見があった。

・ 市民レベルの取組も大事だが、釧路駅の成り立ちにならって「新しい時代の民衆駅」という観点で、経済界や公共、JR 北海道などのしっかりとした組織が協力して行う活動について、検討を勧める助言があった。

・ にぎわい創出として行政ができることは公共施設の権限のリリースであり、釧路市ならではの歴史的なお祭りなどの拡張に関する助言があった。

以上

■第16回 釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会）　名簿

（敬称略）

		所属	役職	氏名	備考
1	座長	(一社)地域社会資本マネジメント研究所	理事長（北海道大学名誉教授）	高野　伸栄	
2	委員		法政大学名誉教授	高見　公雄	
3	委員		元国土交通省　大臣官房　技術審議官	松井　直人	
4	委員	釧路市　総務部	部長	内田　博	代理出席：石田防災危機管理監
5	委員	釧路市　総合政策部	部長	藤田　和弥	
6	委員	釧路市　産業振興部	部長	早坂　正俊	
7	委員	釧路市　産業振興部	観光振興担当部長	堀内　甲	代理出席：久保下総括係長
8	委員	釧路市　住宅都市部	部長	熊谷　伸勝	
9	オブザーバー	北海道開発局　事業振興部　都市住宅課	都市事業管理官	九笹　英司	
10	オブザーバー	北海道開発局　釧路開発建設部　道路計画課	課長	大谷　篤嗣	
11	オブザーバー	北海道　建設部　まちづくり局　都市環境課	課長補佐	清水　憲行	
12	オブザーバー	北海道　建設部　まちづくり局　都市環境課　街路計画係	係長	西川　淳	
13	オブザーバー	北海道　建設部　まちづくり局　都市環境課　街路計画係	主任	柴田　浩太朗	
14	オブザーバー	北海道　釧路総合振興局　釧路建設管理部　事業室　道路課	課長	冨塚　豪	
15	オブザーバー	北海道　釧路総合振興局　釧路建設管理部　事業室　道路課	主査(都市整備)	瀧本　興	
16	オブザーバー	北海道旅客鉄道(株)　総合企画本部　地域計画部	部長	野澤　憲士	
17	オブザーバー	北海道旅客鉄道(株)　総合企画本部　地域計画部	主席	三津谷　豊	
18	事務局	釧路市　都市整備部	都心部まちづくり担当部長	高橋　一浩	
19	事務局	釧路市　都市整備部　都心部まちづくり推進室	室長	石嶋　龍也	
20	事務局	釧路市　都市整備部　都心部まちづくり推進室	総括係長	目黒　壮一	
21	事務局	釧路市　都市整備部　都心部まちづくり推進室	専門員	伊藤　寿英	
22	事務局	釧路市　都市整備部　都心部まちづくり推進室	専門員	平野　忠	
23	事務局	釧路市　都市整備部　都心部まちづくり推進室	主査	山下　展	